※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学) アドバンス数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	チャート式　基礎と演習 数学Ⅱ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・筆記用具、授業用のノート、自習用ノートを必ず用意してください。
・「問題を解く→答え合わせをする→やり直す」ことを実践しけましょう。
　ただ問題を解くことに満足せず、やり直しまでやり遂げましょう。
・教科書の基本例題をまず自学自習してみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。
・ノートや問題集、宿題などの提出物は必ず提出するようにしましょう。
・分からないときは先生、周りの生徒に積極的に質問し、最後まで諦めずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

①各分野における事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。また、これらの内容における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
②各分野における事象を数学的に考察・表現し、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、思考力・判断力・表現力を身に付けている。
③考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法と積分法の考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法と積分法の事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法と積分法に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式の計算	式の計算 複素数と方程式 式と証明	a: 展開と因数分解を用いて計算し、複素数やその解の関わりに関心を持ち，理解することができる。 b: 複素数を用いた買いと判別式や解と係数の関係・多項式の割り算や因数定理・高次方程式に関わる基本的な知識・計算を理解して、考察することができる。また、等式・不等式の証明に興味を持ち、考察することができる。 c:文字式と方程式・複素数の関わりに関心を持ちいろいろな課題解決に活用しようとする。	日々の確認 問題 定期テスト	日々の確認 問題 定期テスト	授業ノート 観察
	図形と方程式	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 円と直線 軌跡 不等式と領域	a:点や直線・円における基本的な計算や性質について関心を持ち、理解することができる。 b:点や直線・円の基本的な計算や性質を用いてグラフで表し、それを活用した軌跡や領域の基本的な知識を理解して、考察することができる。 c: 点や直線・円をグラフで表し、関数と不等式が領域や軌跡について関わることに関心を持ち、いろいろな課題解決に活用しようとする。	日々の確認 問題 定期テスト	日々の確認 問題 定期テスト	授業ノート 観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	三角関数・指数関数	三角比・一般角・三角関数 相互関係・三角関数のグラフ・加法定理・弧度法・三角関数の合成 指数の拡張 累乗根	a:三角比や指数の基本的な計算や性質に関心を持ち、理解することができる。 b: 三角比や指数の基本的な計算や性質・基本的な考えを用いたグラフや三角関数の公式についての基本的な知識を理解して、考察することができる。 c: 三角比のグラフ・公式や指数の計算に関わる考え方に関心を持ち、いろいろな課題解決に活用しようとする。	日々の確認 問題 定期テスト	日々の確認 問題 定期テスト	授業ノート 観察
	指数関数・対数関数・微分法	指数関数のグラフ 対数 対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数 微分係数 導関数 接線	a:指数・対数の計算やグラフと接線と極限値の関係に関心を持ち、理解することができる。 b: 指数・対数の計算やグラフと接線と極限値の関係で、基本的な知識を理解して、考察することができる。 c: 指数・対数の計算やグラフと接線と極限値の関係やこれにかかる様々な問題に関心を持ち，課題解決に活用しようとする。	日々の確認 問題 定期テスト	日々の確認 問題 定期テスト	授業ノート 観察
3学期	微分法と積分法	微分法 積分法	a:増減表や極大値・極小値とグラフや積分と面積の関係に関心を持ち、関,理解することができる。 b: 増減表や極大値・極小値とグラフや積分と面積の関係で、基本的な知識を理解して、考察することができる。 c: 増減表や極大値・極小値とグラフや積分と面積の関係やこれにかかる様々な問題に関心を持ち，課題解決に活用しようとする。	日々の確認 問題 定期テスト	日々の確認 問題 定期テスト	授業ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度